

以下の「論文タイトル」及び「論文概要」は、発表申込書から作成しています（順序不同）。研究会当日の発表では、都合により、タイトルや内容が一部変更になる可能性もあります。また、下記は全部の発表が掲載されていない場合があります。

●論文タイトル

英語コミュニケーション能力向上のためのVRトレーニング教材開発の試み

●論文概要

従来のビデオや教室での演習では再現が難しいリアルな状況をVRで再現し、没入型模擬体験をして学ぶVR学習が外国語コミュニケーション教育で期待されている。VRトレーニングを用いることでの不安や緊張感の軽減を示す研究も多い。しかし、開発や実施コスト、機器への抵抗感などの課題やVR教材の教育効果検証不足などにより、その有用性はまだ十分に示されていない。著者らは、英語コミュニケーション教育用のVR教材を開発し、その効果を評価する研究を行ってきた。研究では、英語での学術プレゼンテーションやホテルでの英語接客など、特定のコミュニケーション目標とシナリオを対象とし、能力評価や脳科学的方法でVR教材の教育効果を検証した。

●論文タイトル

大学初年次ライティング授業における生成系AI利用の分析

●論文概要

初年次生がレポート作成過程において生成系AIツールをどのように利用し、その利用結果から何を学ぶのかを明らかにするために、生成系AIツールに関するワークの解答結果を質的研究法により分析した。その結果、彼らはワークに取り組むことにより、生成系AIツールの問題点を正しく認識し、生成系AIツールを適切に使うための態度や心構えを自覚できた。

●論文タイトル

人口減の時代に、医療と向き合う要点の調査研究6

～服薬指導の深化に関する考察～

●論文概要

人口減と労働衛生の向上を背景に、我々のライフスタイルと医療のあり方が変化している。服薬指導においては、令和元年の薬機法改正により、オンラインによる対応が認められるようになり、患者さんのアドヒランスについて、改めて考える機会となった。さらに人口減が進む中、医療機関の集約等を迫られ、仕組みの変更が必要である。

医療従事者のタスクシフトアクションにより、服薬指導の中に薬剤師による実技指導や認知行動療法の取り組みが出てきている。また、モバイルファーマシーなど住み慣れた場所での治療を継続するための仕組みについて、コミュニケーションのあり方を考察する。

●論文タイトル

ビデオマニュアルに関する心理学的検討

●論文概要

本発表では、ビデオマニュアルに関連する心理学研究のレビューを行い、得られた研究知見に基づいてビデオマニュアルの特性を検討した結果を報告する。具体的には、「手順の把握」および「知識の形成」という点から文書マニュアルとビデオマニュアルを比較した結果を報告するとともに、ビデオマニュアルの「理解しやすさ」「知識・手順獲得のしやすさ」を向上させる工夫点について報告する。

●論文タイトル

製品に同梱されない取説の情報構造のあり方を考察する～全体把握用途と目的限定用途の双方を満たす情報構造を求めて～

●論文概要

冊子などパッケージとして編纂された情報媒体では、作り手、製品評価および認証担当など全体把握を目的とする用例でも、利用者による目的達成に必要な部分のみを知る用例でも、目次やその代替物から情報を探していた。しかし、製品に同梱されない取説のように必ずしもパッケージ化されているとは限らない情報媒体になると、前者は従前の全体俯瞰手段を求め続け、後者は検索や生成 AI の活用へと手段を切り替えていく。冊子媒体と接する機会が減り続ける中では、双方の用例に応え得る情報構造の開発は利便性と業務効率維持の両立に欠かせない。具体化されだした国際標準に照らして、製品に同梱されないこれからの取説の情報構造のあり方の言語化を試みた。

(24.09.04)